

これまでの対応の状況について

<p>A 県中央部の知的障害 特別支援学校の受け 入れ人数拡大 (土地の買い増し、増 築)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高知特別支援学校については増築は困難 ・山田特別支援学校については現状の敷地内では難しいため、増築するには土地の取得、または借用が必要であるが、土地の買い増し等が可能であっても、学校が大規模化すること、工期も長期間必要となること、また構造の複雑化などの課題がある。 ・7月19日に開催された高知大学教育学部と高知県教育委員会との連携協議会において、附属特別支援学校の定員増加について要請。 文部科学省や大学も含めた検討が必要であり、時間がかかる。 (現在の定員:小学部各学年3名、中学部各学年6名、高等部各学年8名) 	
<p>C 既存施設を活用した施 設整備</p>	<p>空き教室数等の調査の結果、複数の市から、全部または一部の「活用の可能性」がある施設について、複数の情報をいただいている。</p>	<p>備考:整備期間1. 5~2 年</p>
<p>D 施設の新築</p>	<p>調査の結果適当な土地はない</p>	<p>備考:整備期間4~5年</p>